



掛川市では、「創像力」「創合力」「創律力」からなる未来を切り拓く「3つの創る力」を育てることを目指し、学校・家庭・地域が連携し、市民総ぐるみの教育を進めています。この『かけがわの子供たち』は、子供たちのよりよい成長のための家庭教育の手引きとなります。各家庭での取組が充実したものになるよう御理解と御協力をお願いします。



## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果から

本年度の「全国学力・学習状況調査」(小学校6年児童及び中学校3年生対象)の結果を、掛川市の子供たちの特長とともにお知らせします。

### 各教科に関する調査の結果

県・全国の平均正答率をそれぞれ100としたときに、掛川市の平均正答率がいくつになるかという指標値で比較しました。

校種	小学校		中学校	
	国語	算数	国語	数学
県比較	99	100	105	104
全国比較	98	97	106	109

小学校は同じか、やや下回りました。

中学校は、県、国ともに上回りました。

### 児童生徒質問紙調査の結果(抜粋)

調査から読み取れる、特に「きらりと光る」掛川市の子供たちの頑張っているところやよいところを紹介します。

子供たちの前向きな姿がうかがえます。

設問	小学校			中学校		
	掛川市	全国	差	掛川市	全国	差
自分にはよいところがある。	88.0%	84.1%	+3.9	87.8%	83.3%	+4.5
人が困っているときは進んで助けている。	94.1%	92.7%	+1.4	94.6%	90.1%	+4.5
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。	84.5%	80.7%	+3.8	84.6%	78.6%	+6.0

【肯定的回答の割合】



掛川市ホームページも御覧ください。

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/9246.html>



# 力を伸ばす! 「かけがわ家庭の学び」3つのポイント

各教科の平均正答率と児童生徒質問紙調査の回答の相関関係を分析し、子供の学びを学校・家庭・地域と切れ目なくつなげて支える『かけがわ家庭の学びグランドデザイン』と関連付け、家庭の学びのポイントを3つにまとめました。子供の可能性を最大限引き出すために、みんなで意識して取り組んでいきましょう。

肯定的回答が高いほど、「教科に関する調査」において平均正答率の高い項目

- ◎ 毎日、同じくらいの時刻に起きて、寝ている。
- ◎ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- ◎ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

## Point1

よりよい  
習慣を  
身に付けよう



- ◎ 国語、算数・数学の勉強は大切だと思う。
- ◎ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う。
- ◎ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。

## Point2

実生活・  
体験と  
つなげよう



- ◎ 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- ◎ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気付いたりすることができている。
- ◎ 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めている。

## Point3

家族の会話・  
話し合いを  
大切にしよう



関連資料

『かけがわ家庭の学びポータル』  
…『かけがわ家庭の学びグランドデザイン』に基づき、「家庭の学び」について市民総ぐるみで考えるための資料と関連WEBサイトを掲載したポータルサイト。  
<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/shisei/kyoikuiinkai/kateinomanabi/>



## Point1

### よりよい習慣を身に付けよう

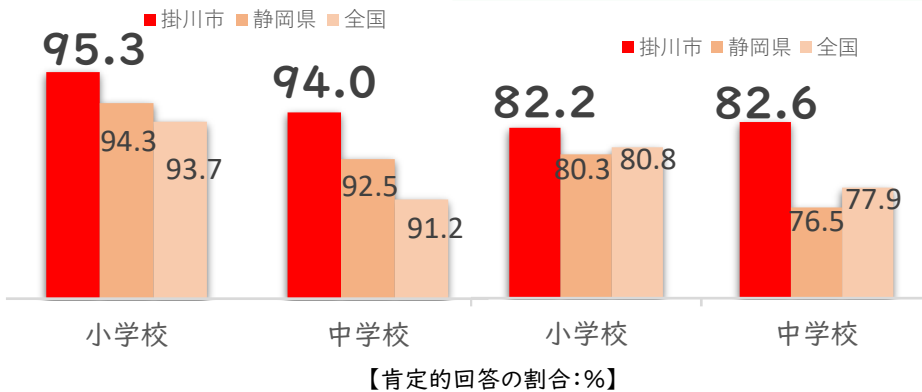
児童期において基本的な生活習慣を確立し、青年期までに望ましい学習習慣を定着させていきたいものです。そのためには、我が家のルールやめあてを決め、定期的に会話の中で話題に挙げて、振り返りの機会をもつようにしたいですね。お子さんのよりよい習慣づくりのために、規則正しい生活を家族みんなで意識していきけるような取組をしていきましょう。

家庭での望ましい生活習慣が、学校生活の充実につながります。

望ましい学び方を身に付けることは、教科の学力の向上に結び付いていきます。

朝食を毎日食べていますか

学習した内容を見直し、次の学習につなげることができていますか



回答別平均正答率

	小学校	中学校
当てはまる	68.4 %	68.5 %
当てはまらない	55.1 %	31.6 %

## Point2

### 実生活・体験とつなげよう

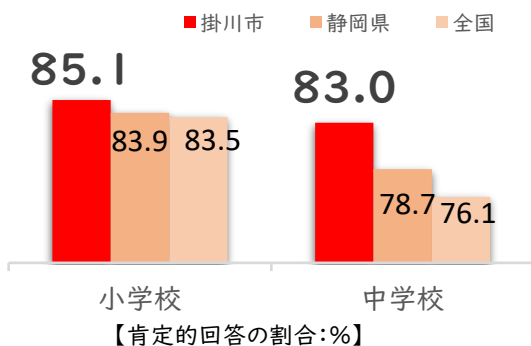
掛川市では、地域ぐるみで子供を育てる意識が浸透し、学校では、地域の方々が得意分野を生かし、様々なことを教えてくださっています。子供たちが地域と関わり、実体験を通して学ぶことで、地域や社会をよりよくする意識や学力に、好影響を与えていると考えられます。御家庭においても、地域の行事への参加など、お子さんと一緒に体験をする中で、学校の学びと実生活が結び付くような働き掛けをしていきましょう。

地域との関わりを通して学ぶ経験が多いからこそ、高い意欲につながっていると考えられます。

学びが実生活で役立つ実感や必要感が、教科の学力の向上に結び付いていきます。

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか

国語、算数・数学の勉強は大切だと思いますか



各教科回答別平均正答率

	国語		算数・数学	
	小学校	中学校	小学校	中学校
当てはまる	70.0 %	63.0 %	68.5 %	63.0 %
当てはまらない	41.4 %	48.1 %	46.4 %	48.1 %

### Point3

#### 家族の会話・ 話を大切にしよう

掛川市の子供たちは、県や全国に比べ、自己肯定感が高い傾向にあることが分かっています。こうした感覚は、乳幼児期からの家庭での愛情ある関わりによって生まれる「自分は大事にされている」という安心感や他者への信頼感を核にして育まれていくものと言われます。それは、多くの子供たちが、「人の役に立つ人間になりたい」と考えていることからもうかがえます。今後も、その子供の思いを受け止め、よさを認め励ます団らんの間となるよう日々の会話を大切に、前向きな心を育てていきましょう。

#### 青年期「心をつないで、応援しよう」

- ・私は、〇〇ぐらいの頃には
- ・…を頑張っていたよ。
- ・～について考えているんだね。
- ・もうちょっと聞かせて。
- ・これまで～してきているから、〇〇なら、きっと大丈夫!

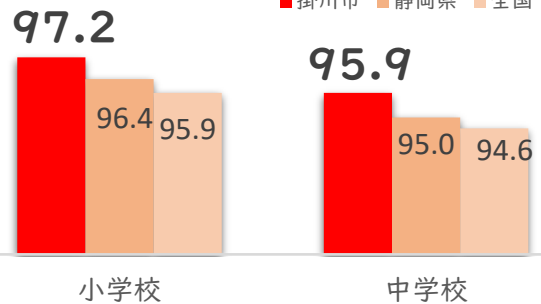
こんな声かけが  
「いいね」👍

#### 児童期「成長を認めて、寄り添おう」

- ・〇〇は、どうしたいの？
- ・今日はどんなことを学校で学んだの？友達の意見についてどんなことを考えた？
- ・前と比べて～になっているね。
- ・ずっと～していたものね。



#### 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【『家庭の学びブランドデザイン・家庭の学びファシリテーターのすゝめ』より抜粋】

【肯定的回答の割合:%】



## Let's Try! 「かけがわ家庭の学び」チェックリスト

チェックリストを参考に御家庭の様子を振り返り、家庭の学びを充実させるための“我が家の取組”を考え、実践していきましょう。

### Point1

#### よりよい 習慣を 身に付けよう

- 生活の仕方やICT利用などの我が家のルールを決め、実践しましょう。
- 家庭で本や新聞を読む時間を確保し、家族で感想を伝え合ってみましょう。
- 定期的に、生活習慣や我が家のルールについて、家族で振り返り、改善していきましょう。



### Point2

#### 実生活・ 体験と つなげよう

- 祭典やボランティア活動など、地域の行事に家族で参加してみましょう。
- 地域のよさに目を向け、家族でできることを話し合ってみましょう。
- お子さんが、その日に学校で学んだことや体験したことをアウトプットできるよう、じっくり話を聞く時間を確保してみましょう。



### Point3

#### 家族の会話・ 話を大切にしよう

- 団らんの時間を大切に、家族での会話の場面をつくってみましょう。
- その子のよさや成長の過程を認め、積極的に伝えてみましょう。
- 子供の話をよく聞き、自己決定を促したり、挑戦を後押ししたりしてみましょう。

